

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 注文を忘れるレストラン 団体名 特定非営利活動法人地域福祉サポートおれんじの輪

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	広報「北名古屋」、北名古屋タイムズ、中日新聞などにも掲載され広く市民に周知できた。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	事前に「認知症を知るための講演会」も併せて開催し、誰もが身近な問題となっている認知症について考える機会となった。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	◎	事業を進めるにあたって地区民生委員、飲食店オーナー、地域の介護支援事業所のケアマネージャー、介護家族などの協力もあり、定員を超える申し込みとなった。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	実行委員会を立ち上げたことにより、計画がスムーズに遂行できた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	事業に協力してくれる人数も確保でき、担当ごとに打ち合わせを行うことでスムーズに実施できた。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	実行委員会に置いても、今後、是非、継続して欲しいとの意見あり。次回は、うちの店で開催したいと手が上がった。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	まずは自分たちの考えていることを試行錯誤でやってみたいという気持ちもあり、あまり他団体への積極的な働きかけはしなかった。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	この事業は、収益事業となるため公的機関ではできないため民間事業者と連携することで効果を上げることができた。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	—	
	・自己資金の確保に努めていますか	○	NPO 法人会員費、賛助会員費、寄付、収益事業による収益
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	参加費を徴収し、経費削減を行った。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	認知症の人がいきいきと活躍できる場となることを確信した。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった —わからない 又は該当しない